公益財団法人日本郵趣協会

2021年度事業計画

【基本となる考え方】

日本及び世界各国の郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究―これを「郵趣」という。

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資する、そして、それを未来に継承する。

これをもって心豊かな潤いのある社会創造に寄与する。

これは2011年の公益法人化に際して、定款に掲げた目的である。

そして今年2021年、発会当時わずか192名からスタートした日本郵趣協会は、創立75周年という記念すべき年を迎えた。

年々、社会一般の郵便離れが加速し、切手に対する関心を持たない人たちが増加し続けているが、「郵趣」を社会により広く浸透させようと取り組む私たちの基本姿勢は、創立時から揺るぎはない。協会の活動は一部の好事家や特定の郵趣家だけではなく、初歩者からアドバンスドコレクターまで「郵趣」を愛する全ての人たちを対象にしていることも不変である。

2020年の年初から全世界を席巻した新型コロナウイルス感染禍は、今なお地球規模で猛威を振るっている。こうした中、協会の事業を継承・発展させるには、「会員力の増強」「財政の安定」「よりよいイベント」という3つの大きな柱なくして実現はできない。

そのため、会員増強委員会を中心に「展覧会来場者促進＆入会キャンペーン」を展開して地道に仲間を増やしていくとともに、地方との連携を強化して多くの会員が事業運営に参画できる仕組み作りを推進する。手紙を書こう！プロジェクト、協働プロジェクトの輪を広げ事業収益の多角化を図るとともに、一人でも多くの会員に協会バックアップのため正会員､維持会員へ移籍のお願いをして財政基盤の強化を図る｡そして、SDGs(持続可能な開発目標)に向けた社会的プロセスを通して、協会の強みである会員及びパートナー企業・団体との連携を深めて、より質の高いイベントを展開していく。

具体的には､普及啓発事業ではITワーキンググループを創設してWEBサイト及びSNSを通じて幅広く多様な情報を発信するとともに、新たな郵趣の楽しみ方を積極的に提案する。展覧会事業では新型コロナウイルス対策に万全を期してスタンプショウ、全国切手展JAPEXの2大切手展をしっかりと開催し、郵趣界が停滞することのないように盛り立てていく｡出版事業では新しい執筆陣を開拓して定期刊行物の内容充実を図り、バイリンガル『ビジュアル日専』の刊行を通して広く海外郵趣家の取り込みを目指す。学術調査研究事業では多彩なテーマで研究発表会、郵趣カンファレンス、文化シンポジウムを幅広く開催し、その成果を『郵趣研究』やホームページを活用して広く知見の共有化を図る。国際文化交流事業では文化の祭典である東京2020大会、郵便創業150年を記念する日本国際切手展2021を通して郵便切手文化の魅力の発信に努めるとともに、バーチャル切手展「VIRTUAL STAMPEX 2021」に出展する。流通促進事業ではさらなる出品物の充実に努めてJPSオークションを開催し、郵便切手文化の保全と健全な市場の形成を図る。顕彰事業では各種功労者を顕彰するとともに、日本郵趣界の未来継承のために新たな郵趣賞の創設を展望する。社会貢献・地域支援事業ではパートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を展開し、登録支部・団体が自主的活動や特性を発揮できるように支援を強化する。

協会創立75周年は「百年企業」を目指す礎の第一歩であり､東京2020オリンピック・パラリンピック大会、日本国際切手展2021のビッグイベントは郵趣の普及・拡大を目指す重要な機会である。

また2021年は、日本の郵便創業150年という記念すべき年である。2021年は「郵趣」再興の絶好機と捉え、理事を先頭に各地方本部、委員会、研究会等との体制・連携を密にして、積極的な活動を展開していく。

Ⅰ　公益目的事業

1．普及啓発事業

万国郵便連合（UPU）加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

（1）「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。特に4月の「切手趣味週間」（切手趣味週間の切手発行日から1週間）期間はキャンペーンを行い、開催の促進を図る。実施テーマにあたっては、地域特性を活かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努める。

（2）展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体及びパートナー・サポート企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施する。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図る。

①スタンプショウ2021来場者促進キャンペーン

実施期間：2021年2月1日（月）～4月25日（日）

②日本国際切手展2021来場者促進キャンペーン

実施期間：2021年6月1日（火）～8月30日（月）

③JAPEX2021来場者促進キャンペーン

実施期間：2021年9月1日（水）～11月7日（日）

④スタンプショウ2022来場者促進キャンペーン

実施期間：2022年2月1日（火）～4月24日（日）［予定］

（3）切手ワークショップ

郵便切手文化を学び、触れる楽しみを広げ、その社会的プロセスを通じてSDGs（持続可能な開発目標）の考え方を理解してもらうため、切手ワークショップを開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定する。

①切手ワークショップ「入門コース・作品コース」

広く一般を対象にして、誰でもが参加・交流できる切手ワークショップ「入門コース、作品コー（全6回）を実施する。切手の博物館（豊島区）で開催し、最終回はスタンプショウ2022会場で開催する。（開催日は予定）

［6月度］内容：切手など郵趣品の話、開催日：6月19日（土）

［9月度］内容：切手など郵趣品の集め方と整理の仕方、開催日：9月25日（土）

［11月度］内容：マイリーフ作成ガイド、開催日：11月27日（土）

［1月度］内容：マイリーフ作成実習、開催日：2022年1月22日（土）

［2月度］内容：アルバムリーフ作成、開催日：2022年2月19日（土）

［4月度］内容：アルバムリーフ展示と作品鑑賞、開催日：2022年4月23日（土）

②出張切手ワークショップ

A. 一般向け切手ワークショップinスタンプショウ2021

内容：体験！切手うちわ作り（切手はり絵）、世界の切手でしおり作り、切手缶バッジ&切手マグネッ

ト作り、開催日：4月23日（金）～4月25日（日）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）

B. 児童向け切手ワークショップ

内容：水はがし体験、切手はり絵、世界の切手でしおり作り等、開催日：随時、会場：世田谷区立給田小学校（世田谷区）、子どもセンターばあん、子どもセンターぱお（以上町田市）

（4）郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして「郵趣スタートガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入手ガイド」「やさしい郵趣用語集」（5種類）の2021年改訂版を有効活用して、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開する。

（5）郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与する。

（6）WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページに適時掲載し、広く社会一般に公開、提供する。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努める。さらに、公式ツイッター、公式ファイスブック等のSNS、公式YouTube等の動画共有サイトを活用して多様な情報を発信し、幅広く社会一般に郵便切手文化の普及啓発を図る。

（7）全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2021in横浜（第39回）&関東郵趣大会2021in横浜（第37回）

会期：8月28日（土）、会場：パシフィコ横浜アネックスホール（横浜市）、後援：日本郵便（株）南関東支社［予定］、企画運営：関東地方本部

②全国郵趣大会2022（第40回）［準備作業］

会期、会場未定

（8） 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①防府切手のつどい2021春

会期：4月5日（日）、会場：デザインプラザHOFU［山口・防府地域工芸・地場産業振興センター］（山口県防府市）、主催：中国・四国地方本部、防府支部

②福山切手のつどい2021春

会期：4月［予定］、会場：まなびの館ローズコム［福山市生涯学習プラザ］（広島県福山市）、主催：中国・四国地方本部、福山支部

③新潟県郵趣の集い2020in三条（第27回）

会期：6月6日（日）、会場：三条商工会議所会館（新潟県三条市）、主催：中部地方本部、新潟県央支部

④静岡県郵趣の集い2021in沼津

会期：6月26日（土）・27日（日）、会場：ホテル・エルムリージェンシー（静岡県駿東郡）、主催：中部地方本部、沼津支部

⑤岡山切手のつどい2021

会期：6月27日（日）、会場：岡山国際交流センター（岡山市）、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

⑥筑後地方切手のつどい2021（第23回）

会期：7月［予定］、会場：小郡市生涯学習センター（福岡県小郡市）、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑦防府切手のつどい2021夏

会期：8月1日（日）、会場：デザインプラザHOFU［山口・防府地域工芸・地場産業振興センター］（山口県防府市）、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧福山切手のつどい2021秋

会期：10月［予定］、会場：まなびの館ローズコム［福山市生涯学習プラザ］（広島県福山市）、主催：中国・四国地方本部、福山支部

⑨関西郵趣家のつどい2021・切手だいすき集まれ！

会期：11月20日（土）・21日（日）、会場：エディオンアリーナ大阪［大阪府立体育会館］（大阪市）、主催：関西地方本部

⑩防府切手のつどい2021冬

会期：11月28日（日）、会場：デザインプラザHOFU［山口・防府地域工芸・地場産業振興センター］（山口県防府市）、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑪広島切手のつどい2022

会期：2022年2月26日（土）、会場：ホテルチューリッヒ東方2001（広島市）、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑫北九州切手のつどい2022

会期：2022年2月13日（日）、会場：アジア太平洋インポートマート［AIMビル］（福岡県北九州市）、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：（公財）西日本産業貿易コンベンション協会、日本郵便（株）北九州中央郵便局［以上予定］

2．展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。また、積極的にパートナー・サポート企業・団体との協働プロジェクトを推進し、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応える。

（1）全国規模の展覧会

①世界切手まつり　スタンプショウ2021（第45回）

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「スポーツ切手大集合」、「風景印90年」の開催、フリースタイル切手展2021、第22回トピカル切手展の作品を公募する。また、パートナー・サポート企業・団体と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図る。

開催テーマ：「何だか面白いぞ、切手！」、会期：4月23日（金）～4月25日（日）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）、後援：文部科学省、東京新聞［以上予定］、特別協賛：日本郵便（株）、協

賛:（株）伊藤園、（株）鼓月、（株）サカモト、（株）蔦金、（株）ながとも、（株）八丁幸、町田酒造（株）、（株）龍角散［以上予定］、協力：切手の博物館［以上予定］

東京2020応援プログラム［認証事業］

②世界切手まつり スタンプショウ2022（第46回）［準備作業］

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進める。また、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募る。

企画展示「切手趣味週間切手発行75年（仮称）」、「復帰50年沖縄切手展（仮称）」の準備作業、会期：2022年4月22日（金）～4月24日（日）［予定］、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）、協賛：日本郵便（株）他、協力：切手の博物館、郵政博物館［いずれも予定］

③第56回全国切手展（略称：JAPEX2021）

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、招待出品「日本国際切手展2021凱旋展」、企画出品「郵便創業150年 手彫切手とその時代」展、「アメリカ切手展」（いずれも予定）、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーショナリー、航空郵趣、テーマティク、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募する。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟（FIP）主催の国際切手展への出品資格が付与される。併せて、公式ガイドブック、記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開する。

開催テーマ：「郵便創業150年、郵趣の楽しみいつまでも」、会期：11月5日（金）～11月7日（日）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）、後援：外務省、アメリカ大使館、協賛：日本郵便（株）、（株）伊藤園、（株）鼓月、ジャパン・スタンプ商会、（株）ながとも、（株）日本郵趣出版、富士急行（株）、協力：（公財）通信文化協会、（一社）全日本郵趣連合［いずれも予定］

④第57回全国切手展（略称：JAPEX2022）［準備作業］

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させるため、企画出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進める。

企画展示：「外地の郵便史（仮称）」の準備作業、会期：2022年11月4日（金）～11月6日（日）［予定］、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）、協賛：日本郵便（株）他、協力：（公財）通信文化協会、（一社）全日本郵趣連合［いずれも予定］

（２） 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2021（第12回）

会期：4月24日（土）・25日（日）、会場：アイパル香川（香川県高松市）、主催：中国・四国地方本部、高松支部

②スタンプショウくだまつ2021

会期：6月19日（土）・20日（日）、会場：スタービアくだまつ［下松市文化健康センター］（山口県下松市）、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便（株）中国支社、みなと山口合同新聞社［以上予定］

③大阪切手まつり2021（第23回）

会期：7月17日（土）・18日（日）、会場：大阪駅前第3ビル（大阪市）、主催：関西地方本部

④スタンプショウ＝ヒロシマ2021（第38回）

会期：9月11日（土）・12日（日）、会場：広島県立産業会館（広島市）、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ＝ヒロシマ実行委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便（株）中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新

聞社［以上予定］

⑤スタンプショウふくやま2021（第42回）

会期：9月［予定］、会場：まなびの館ローズコム［福山市生涯学習プラザ］（広島県福山市）、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便（株）中国支社、中国新聞社［以上予定］

⑥彩PEX2021（第22回）

会期：9月［予定］、会場：未定、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便（株）川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉新聞、埼玉県郵趣連合［以上予定］

⑦大阪秋の切手展2021（第9回）

会期：10月9日（土）・10日（日）、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」（大阪市）、主催：関西地方本部、後援：日本郵便（株）近畿支社［以上予定］

⑧スタンプショウかごしま2021（第24回）

会期：10月［予定］、会場：サンプラザ天文館（鹿児島市）、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便（株）九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム［以上予定］

⑨スタンプショウはかた2021（第32回）

会期：10月［予定］、会場：TKPカンファレンスシティ博多（福岡市）、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援：日本郵便（株）九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社［以上予定］

⑩中部スタンプショウ2021in名古屋（第20回）

会期：10月［予定］、会場：未定、主催：中部地方本部、名古屋支部、後援：日本郵便（株）東海支社［以上予定］

⑪関西スタンプショウ2022（第35回）

会期：2022年3月12日（土）・13日（日）、会場：大阪駅前第3ビル（大阪市）、主催：関西地方本部、後援：日本郵便（株）近畿支社、（一社）切手文化博物館［以上予定］

（3）展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設ける。

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募要項・出品申込書の作成・配布

②JAPEX2021ルールブックの作成・配布

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

④クリティーク（審査員と出品者との対話）の実施

⑤応募作品のデータベース化

（4）公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図る。また、国際切手展郵趣セミナーを開催するとともに、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3．出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合（UPU）加盟約190の

国・地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行する。

（1）書籍及び研究報告書

①郵趣モノグラフ『昭和・新昭和切手の使用例収集(仮称)』(7月刊行予定)

②創立75周年記念出版『戦後の日本郵趣史』(刊行準備作業)

③研究報告書

（2）定期刊行物

①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』 月刊／12回発行

②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行

③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』 隔月刊／6回発行

④WEB版『世界新切手ニューズ』月刊／12回配信

⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信

⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊／6回配信

（3）切手カタログ

①『さくら日本切手カタログ2022』(4月20日刊行)

②『ビジュアル日専 手彫切手編（JSCA 1871-1876)』(10月刊行予定)

③『ビジュアル日専 記念・第1次国立公園切手編（JSCA 1894-1956)』(刊行準備作業)

④『新中国切手カタログ2022』(12月刊行予定)

4．学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催し、広く一般に知的情報の公開・周知を図る。

（1）研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進する。全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施する。

（2）研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

①第36回昆虫切手展 昆虫切手研究会創立50年記念

会期：6月4日(金)～6日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

②第12回世界の植物切手展

会期：6月18日(金)～20日(日)、研究発表：植物切手研究会

③イギリス切手研究会切手展2021

会期：6月26日(土)・27日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

④アメリカ切手展2021 america'21

会期：7月2日(金)～4日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

⑤JPS航空郵趣研究会展2021(AEROPEX2021)－航空機の風景印－

会期：9月25日(土)・26日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

⑥第18回震災切手と震災郵趣展

会期：10月1日（金）～3日（日）、研究発表：震災郵趣研究会

⑦第19回絵画切手展

会期：10月23日（土）・24日（日）、研究発表：絵画切手研究会

⑧ストラヴィンスキー没後50年記念 音楽切手展

会期：10月30日（土）・31日（土）、研究発表：音楽切手研究会

⑨第7回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：11月19日（金）～21日（日）、研究発表：関東郵趣サロン研究会

⑩パソコン郵趣切手展2022

会期：2022年1月8日（土）・9日（日）、研究発表：パソコン郵趣研究会

⑪第20回ドイツ切手展 Germania2022

会期：2022年1月21日（金）～23日（日）、研究発表：ドイツ切手研究会

⑫菊・田沢MINIPEX2022

会期：2022年3月4日（金）～6日（日）、研究発表：菊・田沢切手研究会

⑬第13回テーマティク研究会切手展

会期：2022年3月12日（土）・13日（日）、研究発表：テーマティク研究会

⑭第14回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2022年3月19日（土）・20日（日）、研究発表：聴覚障害者切手研究会

（3）研究公開

郵便切手文化に関する研究事例、実践事例等の専門的知識・知見を幅広く共有するため、各専門研究会会報にとどまらず全国専門誌、ホームページ等を活用して公開発表する。

①『郵趣研究』における研究公開

②ホームページにおける研究公開「私の切手アルバム」

③研究会会報及び研究会ホームページにおける研究公開

（4）郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、その知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催する。また郵趣カンファレンスにおける発表・意見交換会を踏まえて、その学術事例を出版物及びホームページを活用して発表・公開する。［いずれも予定］

①絵画切手の郵趣先進学術事例

会期：10月24日（日）［予定］、会場:切手の博物館（豊島区）

②ドイツ切手の郵趣先進学術事例

会期：2022年1月23日（日）［予定］、会場:切手の博物館（豊島区）

③菊・田沢切手の郵趣先進学術事例

会期：2022年3月5日（土）［予定］、会場:切手の博物館（豊島区）

④テーマティク収集の郵趣先進学術事例

会期：2022年3月13日（日）［予定］、会場：切手の博物館（豊島区）

（5）文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人が参加できる機会を創出する。

①会期：4月23日（金）～4月25日（日）、会場：スタンプショウ2021／東京都立産業貿易センター台東館（台東区）。［文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定］

A. 研究発表「植物切手・図案別収集の展開」、プレゼンター：石田徹氏(植物切手研究会)
B. 講演会「台湾の日本時代50年史」、講師：玉木淳一氏
C. 講演会「切手でたどる郵便創業150年の歴史・戦前編」、講師：内藤陽介氏
D. 講演会「風景印&小型印と郵頼方法～郵趣のための押印サービス～」、講師：富澤昇吉氏
E. トークショー「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー
F. トークショー「第8回FKD48総選挙応援演説」、ゲスト：古沢保氏

②会期：8月28日(土)、会場：全国郵趣大会2021in横浜&関東郵趣大会2021in横浜／パシフィコ横浜アネックスホール(横浜市)。［文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定］
A. トークショー「日本国際切手展2021切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

③会期：11月5日(金)～11月7日(日)、会場：第56回全国切手展／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。［文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定］
A. 研究発表「テーマ未定」、プレゼンター：日本郵趣協会研究会
B. 講演会「テーマ未定」、講師：日本郵趣協会公認審査員
C. 講演会「切手でたどる郵便創業150年の歴史・戦後編」、講師：内藤陽介氏
D. パネルディスカッション 「ビジュアル日専 手彫切手編」、パネラー：稲葉良一氏他
E. トークショー「江戸・東京シリーズ切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー
F. トークショー「風景印の歴史と楽しみ方～風景印の90年～」、ゲスト：古沢保氏

④会期：12月23日(木)、会場：切手の博物館のクリスマス／切手の博物館(豊島区)。
A. トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

（6）展覧会助成

郵便切手文化に関する学術研究において、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して、展覧会助成を実施する。［会場はいずれも切手の博物館、研究発表名は予定］

①日本・ポーランド国交樹立100周年記念切手原画展
会期：4月9日(金)～11日(日)、主催：(社福)福田会

②魚木式郵趣展
会期：4月30日(金)～5月2日(日)、主催：魚木五夫氏

③稲門フィラテリー20周年記念切手展
会期：11月12日(金)～14日(日)、主催：稲門フィラテリー

④第17回中国郵票展
会期：2022年1月29日(土)・30日(日)、主催：福井和雄氏

5．国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

（1）各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

各国外交機関による周年記念事業等を鑑み、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

①「アメリカ切手展(仮称)」
会期：11月5日(金)～11月7日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、アメリカ大使館[予定]

（2）国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

①バーチャル国際切手展「VIRTUAL STAMPEX 2021」へのブース出展、文献出品・頒布、チャット交流、研究発表

会期：2021年3月25日（木）～3月27日（土）、オンデマンド：2021年3月28日（日）～4月28日（水）、主催：郵趣取引協会（THE PHILATELIC TRADERS' SOCIETY Ltd.）

②国際切手展「PHILANIPPON 2021」への文献出品、視察、研究発表

会期：8月25日（水）～8月30日（月）、会場：パシフィコ横浜（横浜市）

③国際切手展「CAPE TOWN 2021」への文献出品、視察、研究発表

会期：11月9日（火）～11月13日（土）、会場：ケープタウン国際会議場（南アフリカ・ケープタウン）

④国際切手展「LONDON 2022」への文献出品、視察、研究発表

会期：2022年2月19日（土）～2月26日（土）、会場：ビジネス・デザイン・センター（イギリス・ロンドン）

（3）日本国際切手展2021（PHILANIPPON 2021）

郵便切手類と郵便制度の世界的先進学術事例を広く公開するとともに、日本の郵便創業150年を契機に郵便切手文化のより一層の普及・拡大を図るため、「日本国際切手展2021」を開催する。その成功に向けて、共催団体及びパートナー企業・団体と協働して、実施計画の策定・推進にあたる。

開催テーマ：「郵便創業150年 新たな可能性へ。」、会期：2021年8月25日（水）～8月30日（月）、会場：パシフィコ横浜／展示ホールB・C（横浜市）、名誉総裁：高円宮妃殿下、主催：日本郵便（株）、（公財）通信文化協会、（一社）全日本郵趣連合との共催、後援：総務省、外務省、文部科学省、観光庁、神奈川県、横浜市、神奈川新聞社、テレビ神奈川、FMヨコハマ、(一社)横浜青年会議所、日本郵便切手商組合、国際郵趣連盟(FIP)(2021年1月現在)、賛助：アジア郵趣連盟（FIAP）、運営機関：日本国際切手展2021組織委員会

（4）東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典だけでなく文化の祭典でもある。東京2020大会を通じて郵便切手類が持つ文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」を開催する。また、東京2020大会をレガシーとして未来に継承するため東京2020大会の郵趣記念品制作に携わるとともに、東京2020大会に関する郵便切手類の保存・記録に取り組む。

※東京2020応援プログラム［認証事業］

6．流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

（1）流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

（2）公開入札制度〈JPSオークション〉

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図る。

①第533回　開催日：4月24日（土）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）
②第534回　開催日：7月6日（火）、メールオークション
③第535回　締切日：8月28日（土）、会場：パシフィコ横浜アネックスホール（横浜市）
④第536回　開催日：11月6日（土）、会場：東京都立産業貿易センター台東館（台東区）
⑤第537回&538回　開催日：2022年2月5日（土）、会場：切手の博物館（豊島区）

7．顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者（個人及び団体）を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。また、当協会75周年を契機として、新たな郵趣賞の創設を展望していく。

（1）選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

①第42回中島健蔵・水原明窗記念賞
②国際大賞（トレーシー・ウッドワード記念賞）
③第41回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）
④第41回郵趣文献賞
⑤第38回小倉謙賞
⑥第36回住野正顕賞
⑦登録支部・団体50周年特別表彰
⑧JPS創立75周年特別表彰

（2）授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は月刊誌『郵趣』及び当協会ホームページにおいて公開する。

①第42回中島健蔵・水原明窗記念賞は、記念すべき式典において受賞者を発表するとともに、授賞式及び記念講演会（記念展示）を公開で実施する。
②国際大賞、第41回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）及び第41回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2021in横浜において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
③第38回小倉謙賞及び第36回住野正顕賞は、第56回全国切手展JAPEX2021において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
④登録支部・団体50周年特別表彰は、全国郵趣大会2021in横浜において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
⑤JPS創立75周年特別表彰は、JPS創立75周年記念パーティにおいて受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。

8．社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進するため、パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行う。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

（1）「手紙を書こう！プロジェクト2021」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験

してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指す。そのため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施する。

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2021(第10回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募する。郵便切手と郵便消印を題材として、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように教育機関等への周知に努める。

発表会:8月25日(水)～8月30日(月)、会場:パシフィコ横浜／展示ホールB・C(横浜市)、後援:文部科学省、豊島区教育委員会、横浜市教育委員会、(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞、日本教育新聞社[以上予定]、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(一財)水原フィラテリー財団、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)、リソー教育グループ[以上予定]

②タイムカプセル郵便

手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、その時代の文化を未来にレガシーとして継承するため、メッセージとなる記録を手紙というツールを通じて、最大10年先まで保管して郵便として届ける。また、日本郵便(株)をはじめとしたパートナー・サポート企業・団体と協働して普及を図る。

募集期間:4月1日(木)～2022年3月31日(木)

協賛:日本郵便(株)、(一財) 水原フィラテリー財団、リソー教育グループ［以上予定］

※日本郵政(株)の商標登録使用許諾事業として実施[2021年度許諾申請中]

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を再発見してもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を実施する。

A. Otegamiフリマ2021 SUMMERコレクション　会期:5月14日(金)・15日(土)

B. Otegamiフリマ2021 AUTUMNコレクション　会期:9月17日(金)・18日(土)

C. Otegamiフリマ2021 WINTERコレクション　会期:11月26日(金)・27日(土)

D. Otegamiフリマ2022 SPRINGコレクション　会期:2022年2月18日(金)・19日(土)

会場:切手の博物館(豊島区)、共催:(一財)水原フィラテリー財団、協賛:日本郵便(株)、リソー教育グループ[以上予定]

④手紙ワークショップ

手紙が本来持っている「想いを伝える力」や新たな手紙コミュニケーションの魅力を再発見してもらうため、手紙を書いて、宛名を書き、切手を貼り、郵便局臨時出張所で小型印等の記念押印をしてもらい、郵便ポストに投函するという一連の流れを体験してもらう。

A. うでピタバルーンdeおたより書こう！

実施イベント:「ぽすくまと仲間たち うでピタバルーン」の無料配布、会期及び会場:Otemamiフリマ2021(全4回)

B. クリスマスポストカードdeお手紙書こう！

実施イベント:切手デザイナーによるオリジナル・クリスマスポストカードの制作・頒布、会期:12月3日(金)～12月25日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)

（2）登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら効果的な事業が推進できるように支

援する。

①地域における郵便切手文化に関する研究発表、作品解説への講師派遣

②地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

③郵便切手文化活動への広報協力

④地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

（3） パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応える。

①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

②青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

（4） ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進する。

①郵趣のための押印講習会（技能認定制度）

②展覧会運営ボランティアの公募

（5）公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行う。

①切手バザール(全8回)［主催：(一財)水原フィラテリー財団］

②全日本切手展2021、会期：6月25日(金)～6月27日(日)、［主催：全日本切手展実行委員会］

③切手の博物館のクリスマス、会期：12月3日(金)～12月25日(土)、［(一財)水原フィラテリー財団共催］

④第25回目白ロードレース、会期：2022年3月［予定］、［主催：目白ロードレース実行委員会］

9．公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協賛していただける企業・団体の募集、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形での寄付を募る。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当する。

（1）パートナー・サポート企業・団体の募集

（2）使用済み切手、書き損じはがきの募集

（3）財政安定化寄附金（一般寄附金）

（4）スタンプショウ2021寄附金（特別寄附金）

（5）JAPEX2021寄附金（特別寄附金）

（6）JPS創立75周年寄附金（特別寄附金）

Ⅱ　管理部門

１．会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

（１）会員の維持・拡大

当協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けたキャンペーン活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間：2021年4月1日（水）～6月30日（水）、スタンプショウ2021来場者促進との連携、『さくら日本切手カタログ2022』見本誌請求はがきとの連携

②夏の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間：2021年8月25日（水）～8月30日（月）、日本国際切手展2021来場者促進との連携

③秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間：2021年10月1日（金）～12月24日（金）、JAPEX2021来場者促進との連携

④口座振替登録キャンペーン

会費の口座自動引き落とし利用促進による会員継続率の向上、再入会ダイレクトメール

⑤移籍お願いキャンペーン（普通会員から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い）

地方本部主催の展覧会等における会員増強活動との連携

⑥『正会員会報』月刊／12回発行

（２）定期刊行物の維持・拡大

①『郵趣研究』購読者拡大キャンペーン

クレジットカード利用促進による紙版・WEB版新規購読者拡大及び購読継続率の向上

②『郵趣ウィークリー』新規購読キャンペーン

実施期間：2021年11月25日（水）～12月24日（金）、紙版・WEB版の新規購読者拡大

（３）会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

２．交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図る。

（１）新春交歓会

①東京･新春交歓会2022

会期：2022年1月8日（土）、会場：リュド・ヴィンテージ目白（豊島区）［予定］

②大阪･新春交歓会2022

会期：2022年1月10日（月・祝）、会場：徐園（大阪市）

（２）地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2021in山形（第30回）

会期：10月(予定)、会場：ヒルズサンピア山形（山形市）、主催：北海道･東北地方本部

②関東郵趣大会2021in横浜（第37回）

会期：8月28日（土）、会場：パシフィコ横浜アネックスホール（神奈川県横浜市）、主催：関東地方本部

③北海道郵趣大会2021in札幌（第36回）

会期：10月［予定］、会場：ホテルサンルートニュー札幌（札幌市）、主催：北海道・東北地方本部

（3）コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。